

# 近畿大学突破カリキュラム

傾向と対策

学習カリキュラム

基礎戦略

使用教材

## ◎ 年間スケジュール

	2月~3月	4月~5月	6月~7月	夏休み	9月	10月	11月	12月~2月	
学校行事									
トライ対策スケジュール	準備期		基礎力養成期		応用力養成期			発展力養成期	実践力養成期
	英:速読英単語基礎編 数:スタンダード数学 国:565パターン集・問題集、古文上達テーマ56 社:「速読読解世界史(日本史・倫理)/学研」 「世界史年代ワンフレーズnew/パレード」「日本史年代ワンフレーズ/パレード」		赤本		英:速読英単語発展編、センター対策問題集 数:チャート式(青)黄色なら尚良い 国:センター対策問題集 社:センター対策問題集 理:センター対策問題集			センター対策問題集	赤本
ポイント	傾向と対策(一般入試)①基礎から標準レベルの問題が多い。⇒教科書の学習をしっかりと行なうことが重要。②英語と数学はセンター入試レベルの基礎を固めれば高得点が可能。⇒満点近く取ることが可能。③国語の現代文は紛らわしい選択肢が多く得点しにくい。⇒古文の引っ掛けに注意し現代文で高得点を確保することが必要。④社会・理科は科目によって異なるが英語・数学ほどの高得点は難しい。⇒社会・理科は85%の得点を旨とする。⑤全般的に試験時間の割りに問題数が多く、時間が不足しがちである。⇒時間内に確実に問題を解く練習をすることが重要。 【基礎戦略】過去問の徹底分析!受験本番ではゼロコンマ何点の戦いになるため、日ごろの勉強から取りこぼしなくケアレスミスをしないう学習を心がけること。								

## ◎Data Mining 【傾向と対策】

英語数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>●英語&lt;傾向&gt;推薦・一般ともに出題スタイルに変わりはない。会話問題・穴埋め・文法問題・内容一致・空所補充・序列表文・長文問題の7題構成。&lt;対策&gt;基本的な語彙力と文法力があれば容易に解答できる。産近甲龍大の中でも易しいほう。</li> <li>●数学&lt;傾向&gt;文系学部は数学I、A、II、B(ベクトル・数列)、理系学部は数学I、A、II、B(ベクトル・数列)、III(公費推薦入試における出題範囲は極限・微分法)・数学C(行列とその応用・式と曲線)からそれぞれ出題される。頻出分野は微積・数列・ベクトル・三角関数・確率である。融合問題も多い。&lt;対策&gt;60分の時間の割には問題量が多い。教科書や教科書傍用問題集を繰り返し解き基礎を固め、過去問を3~4年分解くこと。</li> </ul>
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国語&lt;傾向&gt;現代文2題、古文1題の大問3題構成。問題レベルは標準だが英語同様時間的余裕があまりない。&lt;対策&gt;現古文とも難問は出題されないが現代文はまれに図を利用した問題など特徴的な応用問題が出題されたりする。産近甲龍大でも易しいほうである。過去問で類似の問題をこなしておくこと。</li> </ul>
日本史B 世界史B	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本史B&lt;傾向&gt;時代別では原始時代から現代まで万遍なく出題されているが近・現代の比重がやや高い。分野別では政治史・社会経済史の割合が比較的高い。&lt;対策&gt;教科書で学習することが基本。総合的に正誤を判断する練習が必要。</li> <li>●世界史B&lt;傾向&gt;地域や時代を横断した「テーマ史」が基本。出題形式は正誤問題が中心。教科書レベルの出題。地図や図版を使った問題は必出で地理的知識を必要とする問題も少なくない。&lt;対策&gt;教科書で学習するのが基本。過去問演習によって教科書の知識を「テーマ史」に編み直していく必要がある。</li> </ul>
地理B 現代社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地理B&lt;傾向&gt;地域別では必出のアジアを中心に幅広く出題。分野別では「自然環境」「産業」「都市」「人口」「環境問題」「貿易」「地域調査」の7分野から万遍なく出題されているが融合した問題も見られる。教科書レベルの出題。&lt;対策&gt;教科書の学習に加えて時事問題の対策が基本。図表(統計・地形図など)の読み取り問題をいかに攻略するかがカギ。</li> <li>●現代社会&lt;傾向&gt;「現代社会の特質」「政治」「経済」「国際社会」の4分野から万遍なく出題されているが、分野を融合した問題も見られる。教科書の基本知識と社会で実際に起きている事例とを結び付けた問題が多い。正誤問題が中心。&lt;対策&gt;教科書と時事問題の学習を通して現代史の知識に習熟していくことが基本。また、過去問演習で基礎知識と出題傾向にあった応用の利くものにする。</li> </ul>
物理 生物 化学	<ul style="list-style-type: none"> <li>●物理&lt;傾向&gt;「電磁気」「波動」「運動とエネルギー」の3分野から万遍なく出題。図・グラフ・文章を選ぶ問題がよく出題されている。&lt;対策&gt;教科書の学習が基本。物理用語の定義、物理の基本法則など基礎知識を定着させることが大切。</li> <li>●生物&lt;傾向&gt;「細胞」「生殖と発生」「遺伝」「環境と植物の反応」の5分野から万遍なく出題されている。全体的に問題文と選択肢の文章量が多い。&lt;対策&gt;教科書の学習が基本。考察問題をいかに攻略するかがカギ。過去問演習で習熟度を上げよう。</li> <li>●化学I&lt;傾向&gt;「物質の構成 身のまわりの化学」「物質の変化」「無機物質」「有機化合物」の4分野から万遍なく出題。数字や式を選択する問題だけでなく図・グラフを選ぶ問題も出題。&lt;対策&gt;教科書の学習が基本。「理論」を十分に理解した上で「有機」「無機」の暗記に取り掛かるとよい。計算力も必要。</li> </ul>

## ◎ このような生徒にお勧め!

- ・近畿大学に合格したい現役生から浪人生まで。
- ・弱点克服をしたい。
- ・勉強しても成績が上がらない。
- ・センターの対策と合わせて、効率よく勉強がしたい方。
- ・国公立、関関同立の併願校として選択可。

## ◎ 対象エリア

関西全域  
 対象学年 高校1年生~高校3年生(中高一貫校含む)  
 指導期間 お申し込み時から受験日の月末

## ◎ 対策の特徴

### 【コースの特徴】

- (1) 関西私立総合大学唯一の医学部。医学部合格を目指すならば、合格へ導いていけるプロ教師。トライ式医学部合格コースと併用することで合格率アップも目指せます。
- (2) 現役の近代生の大半が他大学の併願として受験しています。受験の中で突破してきたコツややっておけばよかったことなどを活かした指導を展開できます。
- (3) 基本的に英語は全学部共通、他の科目についても同様のことが言えるのが近大の特徴。それぞれの合格点をいかに取るかがカギ。合格主義の指導法を取ります。

### 【対応教師】

プロ: トライが誇る最高の教師陣  
 セレクトA: 国公立を目指しての併願  
 セレクトB: 関関同立を目指しての併願(薬学部を目指すなら)  
 セレクトD: 指導経験のある教師陣